



キャットミュージックカレッジ専門学校 専門課程

## 令和6年度 財務関係報告書



学校法人 大阪創都学園

「職業実践専門課程」認定校

**キャットミュージックカレッジ専門学校**

# 貸借対照表

令和7年3月31日

(単位:円)

| 資産の部        |               |
|-------------|---------------|
| 科 目         | 金 額           |
| 固定資産        | 3,389,837,737 |
| 土地 建物 構築物   | 3,003,447,861 |
| 教育研究用機器備品等  | 64,827,848    |
| その他         | 321,562,028   |
| 流動資産        | 1,430,906,777 |
| 現金預金        | 1,425,260,107 |
| その他         | 5,646,670     |
| 資産の部合計      | 4,820,744,514 |
| 負債の部        |               |
| 科 目         | 金 額           |
| 固定負債        | 0             |
| 長期借入金       | 0             |
| 流動負債        | 613,100,266   |
| 未払金         | 149,881,808   |
| その他         | 463,218,458   |
| 負債の部合計      | 613,100,266   |
| 純資産の部       |               |
| 科 目         | 金 額           |
| 基本金         | 4,914,836,926 |
| 繰越収支差額      | △ 707,192,678 |
| 純資産の部合計     | 4,207,644,248 |
| 科 目         | 金 額           |
| 負債及び純資産の部合計 | 4,820,744,514 |

# 事業活動収支計算書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

(単位 :円)

| 教育活動収支                    | 収入の部              | 科 目             | 残 高             |
|---------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|
|                           |                   | 学 生 生 徒 等 納 付 金 | ( 575,592,500 ) |
|                           |                   | 手 数 料           | ( 4,303,800 )   |
|                           |                   | 経 常 費 等 補 助 金   | ( 40,329,000 )  |
|                           |                   | 付 随 事 業 収 入     | ( 9,189,579 )   |
|                           |                   | 雑 収 入           | ( 24,183,970 )  |
|                           |                   | 教 育 活 動 収 入 計   | ( 653,598,849 ) |
|                           | 支出の部              | 人 件 費           | ( 320,737,172 ) |
|                           |                   | 教 育 研 究 経 費     | ( 214,166,822 ) |
|                           |                   | 管 理 経 費         | ( 114,618,285 ) |
| 教 育 活 動 支 出 計             |                   | ( 649,522,279 ) |                 |
| 教 育 活 動 収 支 差 額           |                   |                 | 4,076,570       |
| 教育活動外収支                   | 収入の部              | 受 取 利 息 ・ 配 当 金 | ( 674,433 )     |
|                           |                   | その他の教育活動外収入     | ( 0 )           |
|                           |                   | 教 育 活 動 外 収 入 計 | 674,433         |
|                           | 支出の部              | 借 入 金 等 利 息     | ( 0 )           |
|                           |                   | その他の教育活動外支出     | ( 0 )           |
|                           |                   | 教 育 活 動 外 支 出 計 | 0               |
|                           | 教 育 活 動 外 収 支 差 額 |                 |                 |
| 経 常 収 支 差 額               |                   |                 | 4,751,003       |
| 特別収支                      | 収入の部              | 資 産 売 却 差 額     | ( 475,892 )     |
|                           |                   | そ の 他 の 特 別 収 入 | ( 0 )           |
|                           |                   | 特 別 収 入 計       | 475,892         |
|                           | 支出の部              | 資 産 処 分 差 額     | ( 0 )           |
|                           |                   | そ の 他 の 特 別 支 出 | ( 0 )           |
|                           |                   | 特 別 支 出 計       | 0               |
|                           | 特 別 収 支 差 額       |                 |                 |
| 基 本 金 組 入 前 当 年 度 収 支 差 額 |                   |                 | 5,226,895       |
| 基 本 金 組 入 額 合 計           |                   |                 | △ 42,764,539    |
| 当 年 度 収 支 差 額             |                   |                 | △ 37,537,644    |
| 前 年 度 繰 越 収 支 差 額         |                   |                 | △ 669,779,142   |
| 基 本 金 取 崩 額               |                   |                 | 124,108         |
| 翌 年 度 繰 越 収 支 差 額         |                   |                 | △ 707,192,678   |
| (参考)                      |                   |                 |                 |
| 事 業 活 動 収 入 計             |                   |                 | 654,749,174     |
| 事 業 活 動 支 出 計             |                   |                 | 649,522,279     |

# 財産目録

令和7年3月31日

|          |                 |
|----------|-----------------|
| I 資産総額   | 4,820,744,514 円 |
| 内 基本財産   | 3,068,275,709 円 |
| 運用財産     | 1,752,468,805 円 |
| II 負債総額  | 613,100,266 円   |
| III 正味財産 | 4,207,644,248 円 |

| 区分              |                          | 金額              |
|-----------------|--------------------------|-----------------|
| 資産額             |                          |                 |
| 1 基本財産          |                          |                 |
| 土地              | 2,996.78 m <sup>2</sup>  | 1,871,550,408 円 |
| 建物・構築物          | 10,071.61 m <sup>2</sup> | 1,131,897,453 円 |
| 教育研究用機器備品       | 684 点                    | 64,782,294 円    |
| その他             |                          | 45,554 円        |
| 2 運用財産          |                          |                 |
| 現金預金            |                          | 1,425,260,107 円 |
| その他             |                          | 327,208,698 円   |
| 資産総額            |                          | 4,820,744,514 円 |
| 負債額             |                          |                 |
| 1 固定負債          |                          |                 |
| 長期借入金           |                          | 0 円             |
| 2 流動負債          |                          |                 |
| その他             |                          | 613,100,266 円   |
| 負債総額            |                          | 613,100,266 円   |
| 正味財産(資産総額－負債総額) |                          | 4,207,644,248 円 |

# 監 査 報 告 書

学校法人 大阪創都学園

理事長 鈴木 雅 文 殿

令和 7 年 5 月 1 6 日

監 事 川 中 義 裕

監 事 濱 口 佳 工



私たちは、私立学校法第52条第3項の規定に基づき、令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の学校法人大阪創都学園の業務及び財産の状況について監査を行いました。

監査の結果、学校法人大阪創都学園の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められませんでした。また、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は学校法人の財政状態及び経営状況を、事業報告書は学校法人の状況を、法令若しくは寄附行為に従い正しく示していることを認めます。

以 上

# 令和6年度 事業報告書

## 1. 法人の概要

### (1) 設置する学校

キャットミュージックカレッジ専門学校と、大阪アニメーションカレッジ専門学校の2校を設置する。

### (2) 設置する学校の学科

#### ① キャットミュージックカレッジ専門学校

##### 《 専門課程 》

##### 【昼間部】

- 総合学科
- ミュージシャン学科
- ダンス学科
- 音楽技術学科

##### 《 別科 》

##### 【昼間部】

- 専攻科
- ミュージックカレッジ科  
キャットエンタテインメントスクール  
リトルキャット

#### ② 大阪アニメーションカレッジ専門学校

##### 《 専門課程 》

##### 【昼間部】

- 総合学科
- 声優学科
- アニメーション学科
- マンガ・イラスト学科

##### 《 別科 》

##### 【昼間部】

- IT技術コース
- クリエイター専攻コース

(3) 入学定員と入学者数の状況

① キャットミュージックカレッジ専門学校

令和6年5月1日現在

| 課 程           | 学 科       | 修業<br>年限 | 入学定員  | 入学者数 | 備考 |
|---------------|-----------|----------|-------|------|----|
| 文化・教養<br>専門課程 | 総合学科      | 2 年      | 30 名  | 16 名 | 昼間 |
|               | ミュージシャン学科 |          | 40 名  | 36 名 |    |
|               | ダンス学科     |          | 30 名  | 14 名 |    |
|               | 音楽技術学科    |          | 60 名  | 30 名 |    |
| 合 計           |           |          | 160 名 | 96 名 |    |

② 大阪アニメーションカレッジ専門学校

令和6年5月1日現在

| 課 程           | 学 科        | 修業<br>年限 | 入学定員  | 入学者数 | 備考 |
|---------------|------------|----------|-------|------|----|
| 文化・教養<br>専門課程 | 総合学科       | 3 年      | 20 名  | 26 名 | 昼間 |
|               | 声優学科       | 2 年      | 50 名  | 24 名 |    |
|               | アニメーション学科  |          | 20 名  | 12 名 |    |
|               | マンガ・イラスト学科 |          | 40 名  | 37 名 |    |
| 合 計           |            |          | 130 名 | 99 名 |    |

(4) 教職員の状況

① キャットミュージックカレッジ専門学校

令和6年5月1日現在

| 区 分  | 専 任 | 兼 任 | 計   |
|------|-----|-----|-----|
| 校 長  | 1   | 0   | 1   |
| 教 員  | 19  | 72  | 91  |
| 助 手  | 1   | 25  | 26  |
| 事務職員 | 4   | 0   | 4   |
| 校 医  | 0   | 0   | 0   |
| 計    | 25  | 97  | 122 |

① 大阪アニメーションカレッジ専門学校

令和6年5月1日現在

| 区 分  | 専 任 | 兼 任 | 計  |
|------|-----|-----|----|
| 校 長  | 0   | 1   | 1  |
| 教 員  | 23  | 34  | 57 |
| 助 手  | 2   | 17  | 19 |
| 事務職員 | 0   | 0   | 0  |
| 校 医  | 0   | 0   | 0  |
| 計    | 25  | 52  | 77 |

(5) 役員（令和7年3月31日現在）

理事長 鈴木 雅文  
理 事 石角 公宏  
理 事 美根 宏史（学校長）  
理 事 城 将敏  
理 事 杉若 彰一  
理 事 高砂 吉孝  
理 事 鈴木 玲子  
監 事 川中 義裕  
監 事 濱口 佳工

## 2. 事業の概要

学校を取り巻く環境は、コロナ禍を乗り越え改善しつつあり、令和6年度の日本経済は、前年と比べて緩やかな成長を示しています。しかし、家計消費については、物価上昇が消費者心理に影響を与えています。このような状況の中、18歳人口の減少により専門学校の入学者が減少傾向にあり、特に地方の専門学校では定員割れの問題が深刻化しています。厳しい状況が続いていると言えます。

特に、近年大学が業界に直結する形で専門分野において特色を出し、生き残りを図っている中、私たち専門学校業界におきましては、より一層業界と直結し、特色を持った学校運営をおこなうことが喫緊の課題となっております。

このような状況の中、本学園は個性、才能、技術を生かしていく学校であるため、学生一人ひとりと向きあい、エンタテインメント業界で活躍する人材は勿論のこと、社会人として自立できるような教育を行ってまいりました。

### (1) キャットミュージックカレッジ専門学校

音楽業界直結の教育システムを採用し、長年の実績に培った教育カリキュラムを用いた教育をおこなう一方で、外部の著名講師を招いて授業を実施しています。

さらに、第一線で活躍中のアーティストによるクリニックや、社会の現場での実務経験を通して生きた技能を身に着けるための企業研修制度など、音楽業界の専門家から直接学べる機会を用意しています。

平成26年3月31日、本校の専門課程全学科が「職業実践専門課程」として文部科学大臣により認定されました。常任のレギュラー授業の講師は、音楽業界で活躍するプロフェッショナルであり、レベルの高い授業を実施し、音楽の実践現場に近い密度のある教育を行っています。これにより、業界に適した人材を輩出してまいりました。

また、学生一人ひとりの個性・才能・技術に的確に向き合えるよう、担任制を強化して取り組んできた結果、学生個々のニーズに応えることができ、高い進級率を維持しています。就職についても、業界就職を希望する多数の学生が業界に進出することができました。

### (2) 大阪アニメーションカレッジ専門学校

開校21年を経て、多くの卒業生を輩出し、着実に業界とそのネットワークを広げてまいりました。第一線で活躍中の声優、アニメーターによる特別授業、業界の現場での実務経験を通して生きた技能を身につけるため、企業と連携した授業など、エンタテインメント業界の専門家から直接学べる機会を用意しています。

平成31年3月5日、本校の専門課程全学科が「職業実践専門課程」として文部科学大臣により認定されました。また、多数の高等学校に対し本校講師を派遣するなど、高校生の多方面にわたる学生支援を行う一方で、埋もれている人材の発掘にも努めてまいりました。

さらに、アニメーションの国際化を鑑み、主としてアジア圏の学生に門戸を開き、国際的視野に立った人材育成にも力を入れています。

このように、エンタテインメント業界を目指す人材を育成する学校グループとして、業界における特色を持ち、CATグループとしての第二創成期の基礎づくりを行ってまいりました。これに加え、現在は成長期に突入し、さらなる発展を目指して教育プログラムの充実や業界との連携を強化しています。この成長期を通じて、より多くの学生に質の高い教育を提供し、エンタテインメント業界で活躍できる人材を輩出することを目指しています。

キャットミュージックカレッジ専門学校及び大阪アニメーションカレッジ専門学校両校では、高等教育の修学支援新制度の認定校となっております。学生が同制度を利用することで、学生への経済的安定を助けており、経済的支援があることで学生は学業に集中しやすくなっています。その結果、学びの質が向上し、学生が実践的なスキルを身につける機会が増え、就業に直結する教育を受ける環境が整っています。

### 3. 財務の概要等

財務の概要につきましては、財産目録・貸借対照表・資金収支計算書・事業活動収支計算書に記載のとおりであります。概要につきましては以下の通りです。

事業活動収支では法人傘下の両専門学校におきまして、令和6年度募集がキャットミュージックカレッジ専門学校は昨年並みに踏みとどまったものの、大阪アニメーションカレッジ専門学校は大幅に減少したため、学生生徒等納付金が576百万円となりました。教育活動収入合計は、授業料等減免費補助金を合わせて667百万円となりました。

一方、支出につきましては、国際的な原油価格の上昇や、円安が進行しているため、輸入品の価格、特にエネルギー価格や原材料価格が上昇し、物価が上昇しています。このような中、節電等も含めた経費節減に努めつつ、必要な教育研究用備品を更新するなど行い、教育活動支出の合計は奨学金費を含めて660百万円となりました。その結果、教育活動収支差額が7百万円となりました。

また、貸借対照表では、建物、構築物が1,220百万円、教育研究用機器備品等65百万円となり、借入金につきましては、その後借り入れは行っておりませんので無借金経営が継続されています。期末現在の純資産残高は、昨年対比で8百万円増加し、4,210百万円となりました。

令和6年度の募集につきましては、コロナ禍の影響が緩やかに回復している中、エンタテインメント業界の冷え込みも少しずつ回復してきています。そのため、対策をしっかりと練り直し、現在掲げている目標数字に向かって達成できるよう、教職員全員一丸となり、教育活動収入増加に努めるとともに、教育活動支出については合理的に支出し、学校の安定的な基礎維持のため、一定部分の収益確保を目指して健全な学園運営を行ってまいります。

### 4. むすび

学校法人大阪創都学園は設立から37年を迎え、教育産業を担うものとして末永く学校運営を行っていくことを最重要課題として考えております。その中でキャットミュージックカレッジ専門学校および大阪アニメーションカレッジ専門学校は、CATグループの中核をなす専門学校として、充実した学校教育を提供する一方で、業界が求める次世代のクリエイティブな人材を育成することを目的としたエンタテインメントの専門学校グループとして事業展開を進めてまいります。

学生および保護者、並びに債権者の皆様におかれましては、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上